科目ナンバリング	U-LAS00 10011 LJ34				
授業科目名<英訳>	東洋社会思想史Ⅰ The History of Eastern Thought I		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 准教授　福谷　彬	
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金3/金5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

列国が生き残りをかけて賢人を積極的に登用した中国の春秋・戦国時代。それは、儒家を始め、道家、墨家、法家、兵家など、史上稀にみるほど多種多様な思想が発展した時代あった。
ある思想家を理解するためには、思想家を生み出す土壌としての社会や歴史を知らなくてはならない。本講義では、春秋・戦国時代における中国の社会歴史、あるいは他の諸子百家との議論に注意しながら、諸子百家の思想について、おおよそ各回一人の思想家を取り上げて考察する。単に、過去に存在した思想としてだけでなく、現代にまで影響を与える思想を提唱、あるいは現代に至っても解決されない問題に取り組んだ先達の「生きた哲学」として、諸子百家の思想と向き合いたい。
なお、本講義では毎回課題を課すなど、学生に対する到達目標は高い。意欲的な学生の受講は、世界史・倫理を未履修であっても歓迎するが、単位目的のみの履修は推奨できない。

[到達目標]

儒家、道家、墨家、法家など、多くの点で互いに論争を交わした中国古代のさまざまな思想に触れつつ、それらを包摂する視点を学ぶことで、多角的な視点で考察するための素地を養う。
また、諸子百家の思想は、現代の言葉で言えば、哲学や倫理、政治、経済、教育、軍事など様々な方面の学問と関わっている。受講者諸君の自分自身の専門だけではなく、様々な分野の学問に視野を広げることができる。

[授業計画と内容]

第一回　上古の歴史―中国の神話時代―
第二回　春秋時代と孔子の生涯
第三回　孔子と儒教の基本理念
第四回　老子の思想―「大道廃れて仁義あり」―
第五回　孫子の思想―「戦わずして勝つ」―
第六回　墨子の思想―「兼ね愛し交ごも利す」―
第七回　孟子の思想①―民は国の本なり―
第八回　孟子の思想②―楊墨をふせぐ者は聖人の徒なり―
第九回　荘子の思想―万物みな同じ―
第十回　管子の思想―「衣食足りて、栄辱を知る」―
第十一回　荀子の思想―「青は藍より出でて藍より青し」―
第十二回　韓非子の思想―「人を信ずれば則ち人に制せらる」―
第十三回　漢の中国再統一と儒教官学化
第十四回　儒教による諸子百家の包摂
第十五回　フィードバック

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

毎回、LMS上で講義に対する感想・質問の提出を課題とし、提出状況によって平常点とする。また期末にはレポート課題を課す。成績は、平常点50%+レポート点50%とする。

東洋社会思想史Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

東洋社会思想史Ⅰ(2)

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

講義内で推薦する書籍を紹介する。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]